

2021 年度 学校関係者評価委員会 議事録

専門学校 YIC リハビリテーション大学校 201 教室

2021 年 8 月 4 日 15:00~16:30

出席者

(外部委員)

- | | |
|------|----------------------------|
| A 委員 | 保護者等 |
| B 委員 | 卒業生 |
| C 委員 | 企業等委員 (実習先 施設リハビリセンター) |
| D 委員 | 企業等委員 (実習先 施設リハビリセンター長) |
| E 委員 | 企業等委員 (実習先 病院リハビリテーション科) |
| F 委員 | 企業等委員 (実習先 病院在宅リハビリテーション科) |

(学校：事務局)

- | | |
|---|--------------|
| G | 校長 |
| H | 副校長 |
| I | 事務長 |
| J | 校務主事 |
| K | 教務主事 |
| L | 理学療法学科長 |
| M | 作業療法学科長 |
| N | 学校関係者評価委員会担当 |

1. 校長挨拶 (G)

2. 定足数の確認, 委員長の選出 (N)

定足数確認. 委員 14 名, 全員の出席により本会議は成立する.

委員長に E 委員, 副委員長に D 委員を推薦. 全員の賛同により承認された.

3. 議事 (E 委員長, D 副委員長)

●2020 年度の報告

○2020 年度自己点検評価結果について (H) ・ ・ 資料 2020 年度自己点検・評価結果

多くの項目はこれまでの実績を踏襲し取り組んだ.

2019 年度から評価 (◎○×) を上げた項目, 下げた項目について説明.

<質疑応答>

E 委員: Faculty Development (大学教員の教育能力を高めるための実践的方法: 以下 FD) の実際的な評価についてはいかがが.

H : 教員研修は Y I C グループで行っている. シラバスの確認, 遠隔授業についての研修に参加している.

- G : 全教員が国家試験過去問題をチェックしている。
- F 委員：卒業生の把握はしないのか。
- H : 理学療法・作業療法の業種では必要がない。これまでも行っていない、今後も行わない。
- B 委員：同窓会として連絡先を把握しようとしている。
- H : 離職率について、情報収集が必要な業種として、必要性が低い。
- G : 個人情報のこともあり配慮が必要。

○2020 年度学科報告・資料 2020 年度学科報告資料

- M : 2020 年度国家試験合格率 100%, 全国では 88.8%であった。国家試験合格者の就職率は 100%, 卒業生に占める就職者の割合は 100%である。
中途退学者は 4 名, 中退率 7%である。
2020 年 4 月 1 日在学者 55 名, 2021 年 3 月 31 日在学者 51 名である。
- L : 2020 年度国家試験合格率 88.0%, 全国では 86.4%であった。
就職率は, 国家試験合格者の 95.5%, 卒業生に占める就職者の割合は 88.0%であった。
中途退学者は 4 名, 中退率 4.5%である。
2020 年 4 月 1 日在学者 114 名, 2021 年 3 月 31 日在学者 110 名である。

<質疑応答>

- E 委員：理学療法学科では、未定の 1 名が決まれば就職率 100%か。
- L : そうなる。
- B 委員：作業療法学科はなぜ国家試験 100%合格なのか。
- M : 学生がまとまっていた。e-ラーニングシステムを構築していたこともよかった。コロナ対策のため在宅学習の機会があったが、その勉強方法が功を奏した学生もいる。
- B 委員：コロナ面がマイナスに作用していたのでは。
- M : 対面でできないことは Zoom を使用するなど工夫した。
- B 委員：就職について、例年より求人募集の時期が遅かったのではないか。募集時期の遅さにより就職状況に影響があったのか教えてほしい。コロナの影響を受けているのかどうか。
- H : 例年より少なかった。出足が遅かった。特に県内にみられた。求人がない状況ではない。

○2020 年度重点項目と取り組みについて（検証）・資料 2020 年度重点項目への取り組み

- 重点項目（１）国家試験合格率 100%達成、国家試験対策教育の充実（藤井副校長）
- 重点項目（２）初年次教育の充実（加藤教務主事）
- 重点項目（３）客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination：以下 OSCE）の計画的な実施（加藤教務主事）
- 重点項目（４）入学者数増（藤井副校長）
- 資料をもとに説明した。

<質疑応答>

重点項目（１）について

- E 委員：基礎医学系の動画コンテンツである VISUALEARN について、実際学生がやってみて学習の補完になっているのか。
- G ：コンパクトにまとまっているコンテンツである。講義の中で学生に見せるとわかりやすいとの反応がある。学生が積極的に見ているかということ個人によって差がある。
- F 委員：国家試験対策ではまだ学習していない範囲も対象になると、学生は取り組みにくいのではないか。
- K ：学習していない範囲も対象になるため目標設定が必要である。今年度からはセミナーの枠で授業として教えていければと考えている。
- G ：できるだけ学習している範囲を対象とするようにしている。

重点項目（２）について

- D 委員：基礎力リサーチについては、期末試験等に反映しているのか。
- K ：期末試験、国家試験などへの反映については検証できていない。内容については国語、数学などで、ここで分岐から事があれば指導していく。

重点項目（３）について

- D 委員：OSCE を始めて以降、実習での指導が減った印象がある。基本的なことはできるようになっていると感じている。
- B 委員：外部評価として OSCE にかかわった。かなり緊張感ある雰囲気で行っている。授業も担当しているが、その時とは全く雰囲気が違い、いい雰囲気で実施していると感じた。ぜひ今後も継続していただきたい。
- H ：OSCE はすべて録画している。また、試験日に即日フィードバックしている。外部の方に模擬患者や評価をしていただいている。今後もバージョンアップしていきたい。
- E 委員：OSCE の対策として授業を実施しているのか。
- K ：OSCE はひとつのコマとして実施している。教員による模倣と動画を使用している。
- H ：動画をもとに授業を実施している。教員による指導内容の差が出ないように気を付けている。

重点項目（４）について

- E 委員：ホームページへのアクセス数はどうか。
- I ：昨年より増えている。1 か月に 5,000～6,000 件、多いときでは 10,000 件を超えることもある。直帰率もそれほど多くない印象である。
- A 委員：教員と学生の距離が近いように思う。そういうことなども情報として必要ではないか。親としては安心している。

●2021 年度重点項目と取り組みについて（計画）・・資料 2021 年度重点項目への取り組み

重点項目（１）入学者数増（H）

重点項目（２）国家試験合格率 100%達成，（H）

重点項目（３）遠隔授業に向けたハード面の充実（H）

資料をもとに説明した。

<質疑応答>

質問なし

●その他

<質疑応答>

A 委員：実習の受け入れはどのような状態か。

L ：昨年度はコロナの関係で受け入れできない施設様もあり苦勞した。今年度は施設様側も受け入れ態勢ができてきているようである。

4. その他（N）

（１）学校の年間予定について

（２）学校パンフレット・募集要項・年報について

以上

議事録作成者：N